

# THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **758** December 2021

**Special Issue : The Cultural and Academic Relations between the Eastern Bloc Countries and the West during the Cold War Period**

Introduction to the Special Issue ..... SHINDO Rikako

Soviet-Japanese Cultural and Scientific Ties during the Cold War  
..... Andrii Ivanovich Kudriachenko

Polish-German Musical Relations during the Cold War Era :  
The Role of Politics and Personal Contacts ..... Anna G. Piotrowska

The Cultural Policy of the Soviet Union during the Cold War Period and  
the Ukrainian Question ..... Viktoriia Vitalievna Soloshenko

The Socialist Unity Party of Germany's Cultural Policy in the Field of Literature  
..... Frank Riesner

English Summary of the Special Issue Articles

**Book Reviews**

MIZUNO Kosuke, *Industrial Relations in Democratizing Indonesia :  
The Dispute Settlement System Based on the Musyawarah Principle  
and an Examination of the Origins of Labor Activism*..... YAMADA Nobuyuki

SASAKI Koji, *The Immigrants and Their Virtues :  
A Historical Ethnography of Japanese-Brazilian Intellectuals* .....NEGAWA Sachio

NAKADA Motoko, *A Cultural History of Wet-Nursing  
in Nineteenth-Century Britain* ..... TAKEUCHI Keiko

IIDA Miki, *Unpatriotic Women: Perm and Mompe (work pants) in Wartime Japan*  
..... NAMBA Tomoko

UEHARA Kozue, *Power of the Commons : 1970-80s Kin Bay Struggle  
and Its Philosophy of Survival*..... MORI Keisuke

OGAWA Shinichi, *Small-group Activities as Japanese-style Management :  
Development, Diffusion, and Transformation of Quality Circles* .....ISHIDA Mitsuo

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting ..... KASAHARA Ryota

The Institute's Activities in August 2021

## OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail : [oharains@adm.hosei.ac.jp](mailto:oharains@adm.hosei.ac.jp)

編集(兼)発行人

法政大学大原社会問題研究所

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,018円(本体926円+税10%)

年間購読 12,000円(税込)

# 大原社会問題研究所雑誌

758 2021.12

## 【特集】冷戦体制下のソ連・東欧社会主義圏と西側世界の文化学術交流

特集にあたって	進藤理香子	1
冷戦体制下におけるソ連と日本の文化学術交流	アンドレイ・クドリャチェンコ/進藤理香子 訳	3
冷戦期ポーランド・ドイツ間の音楽によるつながり ——政治、そして個人交流が果たした役割	アンナ・G・ピョートルロフスカ/中川 隆・藤田理雄 訳	16
冷戦体制下のソビエト文化政策とウクライナ問題	ヴィクトリア・ソロシエンコ/進藤理香子 訳	27
ドイツ社会主義統一党の文化政策 ——文学領域における展開	フランク・リースナー/清水雅大 訳	41
特集論文・英文要旨		55

## ■書評と紹介

水野広祐著『民主化と労使関係』	山田信行	57
佐々木剛二著『移民と徳』	根川幸男	62
中田元子著『乳母の文化史』	竹内敬子	66
飯田未希著『非国民な女たち』	難波知子	70
上原こずえ著『共同の力』	森 啓輔	75
小川慎一著『日本的経営としての小集団活動』	石田光男	80

社会・労働関係文献月録		85
月例研究会	笠原良太	91
所 報 2021年8月		92

発 行 / 法政大学大原社会問題研究所

発売所 / 法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と  
課題がわかる貴重なデータブック

最新2021年版 第91集

# 日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

— おもな内容 —

- 序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点  
 <<特集1>> コロナ禍の雇用・暮らしへの影響とその構造的背景・政策課題  
 <<特集2>> 医師の長時間労働問題と労働運動  
 第1部 労働経済と労働者生活  
 第2部 経営労務と労使関係  
 第3部 労働組合の組織と運動  
 第4部 労働組合と政治・社会運動  
 第5部 労働・社会政策  
 <付録> 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計 / 年表

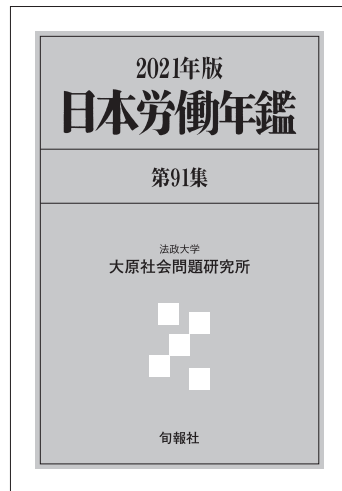
### 本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。

ハーバード大学歴史学教授(日本近現代史、労働史)  
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦します



本体16,500円(税込)  
A5判・上製・568頁

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F  
電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

# 日本労働研究雑誌

No.736 2021年11月号 定価 937円(本体852円) 年間購読 11,244円(税込)

## ディアローク + 特集「働くことの意味の変化」

- 提言 問い続ける 杉村 芳美
- ディアローク 労働判例この1年の争点 山田 省三  
両角 道代
- 論文 日本人の働く意味の変化——国際比較の視点から 米田 幸弘  
仕事の意味に関する研究の現状と課題——人生の意味の心理学の立場から 浦田 悠  
働くことの意味と保護——持続可能なディーセントワークの構想 上村 泰裕  
近代組織労働の社会的意味——歴史的アプローチ 金野美奈子
- 書評 西村幸満 著『生活不安定層のニーズと支援——シングル・ペアレント, 単身女性, 非正規就業者の実態』 大沢真知子  
佐藤忍 著『日本の外国人労働者受け入れ政策——人材育成指向型』 上林千恵子
- 論文Today 適切な友人関係の構築——社会ネットワークの視点より見た新規加入者のチーム内での社会化 高橋 宏承
- フィールド・アイ オランダと公衆衛生 (ロッテルダムから①) 田中 宏和

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23  
☎ 03-5903-6255

# 労働の科学

Digest of Science of Labour

2021年10月号  
76巻10号

10

定価 1,200 円(税込)  
年間購読 13,000 円(税込)

## 【特集】デジタル化時代の働き方を考える

- ◆ The Future of Work — Who should determine it? ..... Dr. Matthias Kipping
- ◆ デジタル共通言語の変異と進化—デジタル社会の働き方 ..... 小野 治
- ◆ コロナウイルス禍でのテレワークの実態と課題について ..... 坂田淳一
- ◆ デジタル化時代の働き方 ..... 坂本恒夫
- ◆ 在宅勤務における労務管理 ..... 平澤貞三
- ◆ 凡夫の安全衛生記・57 「学んだこと」研修, 学会, 本や雑誌 ..... 福成雄三
- ◆ 漂流者たち—クミジヨの肖像・8 ..... 本田一成
- ◆ 大原孫三郎と志水安三・7 ..... 兼田麗子
- ◆ 芸能従事者は今・5 ..... 森崎めぐみ
- ◆ ILOインド・南アジアこぼれ話・7 ..... 川上 剛
- ◆ 「#教師のバトン」で伝わる教職員の過酷な勤務環境・7 ..... 藤川伸治
- ◆ チャレンジ! SDGs・6 ..... 泉 貴嗣
- ◆ 雲仙・普賢岳噴火災害から30年・2 ..... 松下英爾
- ◆ 口絵 広がる参加型職場環境改善・10 ..... 仲尾豊樹
- ◆ 巻頭言 創立100年—これからの労研と役割のあり方⑩ ..... 岸 玲子

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12 桜美林大学内3階 公益財団法人 大原記念労働科学研究所  
TEL: 03-6447-1435 FAX: 03-6447-1436 HP: http://www.isl.or.jp/